

エノキ

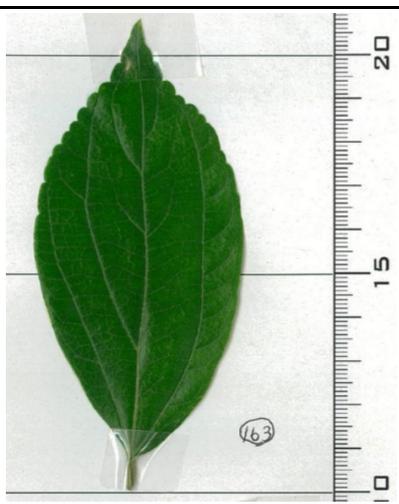
【 区画⑪(61), 区画⑮(85), 区画⑳(163, 164), 区画㉑(176, 178, 179) 】

がくめい 学名	<i>Celtis sinensis</i> Pers	ぶんるい 分類	アサ科エノキ属
ぶんぶ 分布	ほんしゅう きゅうしゅう さんりんちゅう 本州～九州の山林中	じゅこう 樹高	15～20m程度の落葉高木

〈 特徴等 〉

なまえ ゆらい 名前の由来	いみ ふめい こめい ・意味は不明。古名はエ。		
は とくちょう 葉の特徴	① じょうりよく 常緑 ・ らくよう 落葉	② こうよう 広葉 ・ しんよう 針葉	
	③ たいせい 対生 ・ ごせい 互生	④ たんよう 単葉 ・ ふくよう 複葉	⑤ きよしえん 鋸歯縁 ・ ぜんえん 全縁
かいかとう 開花等	はる がつ たんおうしよく うす きいろ こま はな き ・春(4月)になると淡黄色(薄い黄色)の細かい花を咲かせる。		
けつじつとう 結実等	あき ちよつけい ていど だいだいいろ かじつ ・秋になると直径7mm程度の橙色(オレンジ)の果実をつける。		
ほか その他	<ul style="list-style-type: none"> ・エノキの果実は食べることができる。 ・エノキの葉は国蝶オオムラサキの幼虫の餌として知られている。 		

〈 写真 〉

		
じゅもく 樹木 (6/12)	じゅひ 樹皮 (5/12)	は のつきかた 葉の付き方 (6/12)
		
は 葉 (6/12)	はな 花 (/)	かじつ 果実(実) (/)

〈 参考文献 〉 さんこうぶんけん
 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 654.
 林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 48.